

令和7年度

事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会

短期入所事業所「かのん」

(短期入所(福祉型:単独型)事業)

1、はじめに

入居定員最大3名短期入所かんのんの運営については、利用者保護者との連絡調整により予定を整えサービス提供を行っている。福祉型単独型短期入所事業所の使命として希望される利用者に対し状況を検討し受け入れを行ってきた。医療対応など困難なケースは対応できないこともあったが、行政より依頼のあった行動特性のある児童の受け入れを行った。

利用回数の全体数は前年比ほぼ同数であった。保護者の入院等緊急ケースがあり日中事業所との調整により支援を行い併設型GHでの短期入所利用に繋げた。高等養護学校生が日中事業所体験利用時の短期入所の受け入れを行った。

利用者職員の検温・健康チェック・各所消毒・換気などの感染防止について継続して配慮を行い実施してきた。申し送りノート・利用者支援シートを整備し支援の有効性を図った。

津波警報発令の際には各事業所や保護者との連絡により対応を行った。川沿地区GHとの地震津波・火災想定避難訓練を共有した。必要な備品等を購入更新した。

スタッフ会議等で共有する事項の確認を行い、虐待防止に関する各報道案件については検証及び学習・意識の向上など継続して協議研鑽を行ってきた。

川沿事業運営部所属として生活介護事業所及び共同生活援助事業所職員より夜勤宿直の協力を得て運営を進めて行った。

2、活動内容

・申込対応

家族より依頼を受け日程を整理。必要により日中活動事業所との調整を行った。行政機関との連絡調整を行った。新規利用希望者については事業説明の後利用契約を行った。

・日常支援

在宅より、又は日中活動事業所より入居の受け入れを行った。

支援内容

居室(個室・3室)及び居間にて余暇を見守った。バタリェック、入居時や毎朝の検温等により健康管理を行った。食事支援、世話人により提供し必要に応じ介助支援を行った。入浴支援、必要に応じ介助支援を行った。身体チェックを行った。排せつ等支援、必要に応じ声掛け介助支援を行った。睡眠、見守り支援定期巡回により確認を行った。起床整容、必要に応じ声掛け介助支援を行った。消耗備品の交換等随時行ってきた。

保護者との連絡調整・引き継ぎを行った。

・避難訓練

津波警報発令の際には各事業所や保護者との連絡により対応を行った。川沿地区GHとの地震津波・火災想定避難訓練を共有した。

・支援記録

利用契約書、重要事項説明書の内容に基づいて支援を行った。

日常の利用者の状況について支援日誌へ記載により記録での整備を行った。

申し送りノート・利用者支援シートを整備し支援の有効性を図った。

・スタッフ会議

短期入所に携わる管理者・支援職員による利用者の支援為の業務確認や共通認識の周知徹底を図っていった。

令和7年度短期入所事業「かのん」(単独型)～月別利用実績～

定員 3 名 ()内は女性

月	利用人数	延べ 利用回数	利用人数内訳					
			区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童区分
4	18(6)	69(24)	0	0	3	8	7	0
5	22(7)	75(24)	0	0	3	9	8	2(区3・1)
6	20(6)	72(21)	0	0	3	9	8	0
7	19(7)	68(22)	0	0	3	8	7	1(区2)
8	18(6)	63(21)	0	0	3	8	7	0
9	19(6)	66(22)	0	0	3	8	6	2(区2・1)
10	20(6)	74(21)	0	0	3	9	7	1(区1)
11	21(6)	61(21)	0	0	3	8	9	1(区2)
12	18(6)	80(21)	0	0	2	8	8	0
1	19(7)	79(24)	0	0	3	7	8	1(区2)
2	20(6)	68(19)	0	0	3	7	8	2(区3・2)
3	20(6)	68(16)	0	0	3	7	8	2(区3・2)
合計	234(75)	855(256)	「R6…225 (75) 、825 (259) 」					
平均	19.5(6.3)	71.3(21.3)	「R6…18.8 (6.3) 、68.8 (21.6) 」					